

北広島町では、共同事務室を中心に業務改善を推進しています！

北広島町では、「北広島町型業務改善」と題して、共同事務室が中心となって、町内の全ての教職員にアンケートを実施するとともに、「業務改善推進校」を独自に4校指定するなど、積極的に取り組んでいます。こうした取組を北広島町教育委員会も全面的にバックアップしており、アンケートで出されたアイデアを可能なものから順次実施しています。

「熟議」の実施【8月】

町内の全ての事務職員で「熟議」を行い、課題や改善策のアイデアを共有する中で、目指すべき方向性を確認しました。

その後、アンケートの実施に向けて協議しました。



Plan・Do

- ✓ アンケートの実施
- ✓ 業務改善推進校の指定
- ✓ 各学校の取組

中間報告会【12月】

業務改善推進校の4校（芸北小・大朝小・新庄小・八重東小）が、アンケートや校内での「熟議」を踏まえた取組状況を町内の事務職員研修会で報告し、意見交換を行いました。

Check Action

業務改善推進校の取組に対する評価
 ✓ アンケート
 ✓ インタビュー
 評価を踏まえ、次年度に向けた検討・更新

実践報告会【2月】

業務改善推進校の4校が、取組評価のために実施したアンケート結果を報告し、意見交換を行いました。「皆で考えたことで、意識が高まった」、「取組を継続することが大切」などの声がありました。



八重東小の実践例（抜粋）

とっても大きな表示で「見える化」！



語ろう業務改善！ 回そうPDCAサイクル！（事例集P5より）

北広島町教育委員会も全面的に支援！

【取組例】（抜粋）

アンケートで出されたアイデアの一つ

入学児童名簿をデータでもらえたら、名簿作成、指導要録、卒業生名簿等に役立つと思う。

可能なものから順次実施！

町長部局と連携し、**入学者名簿の電子データを各学校に提供することが可能に！**【1月実施済】

「プチ改善」のススメ♡

今回は、事例集P104に掲載している「鍵の使用状況の『見える化』」について、福山市立山手小学校の実践例を紹介します。

鍵の使用状況の「見える化」(事例集P104)より

- 鍵の保管場所を集約して固定化するとともに、鍵を使用する場合は、**教職員が所持する札と交換で使用**することにし、**使用簿の記載を省略**している。
- ➡ 返却されていない場合でも、使用者がすぐに分かるので、探し回る必要がなくなったとともに、返却も速やかに行われるようになった。

保管場所を集約



市販のキーハンガーを組み合わせて、手作りしました！➡

職名や学級名等に表示しているので、人事異動があっても作り変えが不要♪

体育館のカギを使用する場合

Step1

キーハンガーに、カギが掛かっていることを確認します。



Step2

キーハンガーの上部に、カードキーを差し込みます。



Step3

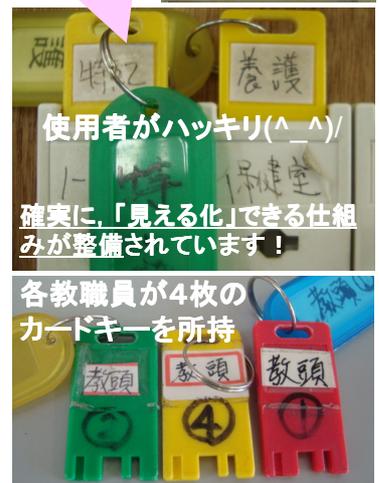
カギを引き抜いて使用します(カードキーなしでは、引き抜けません)。



使用者がハッキリ(^_^)/

確実に、「見える化」できる仕組みが整備されています！

各教職員が4枚のカードキーを所持



いつかは みんなで「プチ改善」！（事例集P121より）